

平成24年度第6回

**宝塚市廃棄物減量等推進審議会議事録要旨**

平成25年3月6日開催

## 平成24年度 第6回 宝塚市廃棄物減量等推進審議会議事録

【日 時】平成25年3月6日(水) 午後1時30分～3時00分(1時間30分)

【場 所】宝塚市クリーンセンター 3階 会議室

【出席委員】委員17名中15名。

委員の過半数以上の出席があり、宝塚市廃棄物減量等推進審議会条例  
第6条第2項の規定により会議は成立

出席委員は次のとおり

中丸会長、原田副会長、池田委員、中野委員、稲野委員、藤井委員、今  
里委員、中村委員、菊川委員、池田則夫委員、金岡委員、橘委員、戸川  
委員、国山委員、頼岡委員

【事務局】クリーンセンター所長、業務課、管理課

(株)日本環境工学設計事務所

【傍聴者】なし

### 1 開会

クリーンセンター所長あいさつ

### 2 一般廃棄物処理基本計画案についての意見募集結果について

事務局：(パブリックコメントの結果に関して資料説明)

中丸会長：パブリックコメントの結果について意見があればお願いしたい。

中野委員：自治会との観点で、新任の自治会長の施設見学などを今後進めていきたい。  
田原市の炭化施設の事例については、資源物の引き取り事業者が近くにな  
いと実施できないので、本市の地域性に合わせたリサイクルを推進するべきで  
ある。

藤井委員：審議会で話された内容と同様の意見も見受けられ、そうした意見が反映され  
ることが望まれる。

中丸会長：実施の可能性を考慮しながら、具体的な取り組みを計画に反映することが望  
まれる。

パブリックコメントの結果について他に意見はないか。

(全委員了解)

事務局：(市議会文教生活常任委員会からの意見とそれに対する市の考え方に関して  
資料説明)

中丸会長：市議会文教生活常任委員会からの意見と市の考え方に関して意見があればお  
願いしたい。

原田委員：スケジュールについて前期と後期がそれぞれいつからいつまでを示すのか明  
確にしてはどうか。

事務局：前期を平成25年度～平成29年度まで、後期を平成30年度～平成35年度までと

分かるようにしたい。

中丸会長：子供の環境教育に関しては重要である。先進国では幼児期から環境教育を始めている。宝塚市として環境教育を推進する姿勢を示すべきである。

菊池委員：子供の頃からの社会教育の一環として環境教育は大切であるので、追記すべきである。

事務局：循環型社会形成に向けた人づくりの項で、ご意見を反映したい。

戸川委員：目標達成時の経費削減効果はより強く書いてよいのではないか。

中丸会長：ほかに意見はないか。

(全委員了解)

事務局：(ごみゼロ推進委員からの意見とそれに対する市の考え方に関して資料説明)

中丸会長：ごみゼロ推進委員からの意見と市の考え方に関して意見があればお願いしたい。

藤井委員：傘に関しては、自治会である程度集めてクリーンセンターへ持ってきたら引き取ってもらえることを周知すべきである。

中野委員：不法投棄されている傘の回収と処理が自治会でも問題になっている。

池田委員：大阪市ではNPOが傘のリユースを推進している。そうした活動が本市にも定着していくことを期待する。

中丸会長：ほかに意見はないか。

(全委員了解)

パブリックコメントのその他の意見等についても説明願いたい。

事務局：(パブリックコメントなどのその他の意見に関して資料説明)

中丸会長：これまでの説明について何かご意見があればお願いしたい。

私から質問したい。カラス用ネットの貸し出しの制度はいつから実施したのか。

事務局：平成19年度からである。

中野委員：カラス用ネットに関してはやや耐久性に課題がある。猫やアライグマは簡単に破ってしまう。

事務局：今後、対策を検討する上での参考とする。

国山委員：環境教育と環境学習を併記するのはおかしいのではないか。教育は人から教えられること、学習は自分から学ぶことである。

事務局：ご意見を踏まえ再考する。

中丸会長：ほかに意見はないか。

(全委員了解)

### 3 その他

事務局：基本計画の審議に関しては今回が最後である。

本日の審議の結果を計画に反映して修正し、会長の了解を得て完成したい。

その後、市長への答申を行い完了としたい。


中丸会長：修正案の了解は会長に一任していただいてよろしいか。  
(全委員了解)


事務局：本審議会で審議していただいた関係でプラスチックのリサイクル経費を削減すべく、リサイクル事業者の入札を行った。3社で入札を行い現状より大きく経費を削減することができた。

中丸会長：以上で本審議会を終了する。これまでの期間、ご協力、ご尽力いただいたことに感謝する。ありがとうございました。

上記議事録について議事内容と相違ないことを承認し、ここに署名押印する。

平成25年 3月 6日

議事録署名人 國山昌広 

議事録署名人 頼岡吉則 

議長 中丸寛信 